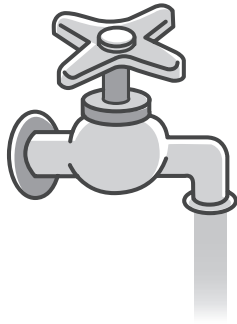




◀この一般質問の映像はこちらから



■ 水道料金について



小野 曜子

質問

水道料金値上げの見直しは

町 事業継続のため先送りしない

問

議会初日に平均で10・85%の値上げの条例が可決された。水道の公共性や若者移住促進などの観点から、町の一般財源繰り入れで当面の施設、設備更新などを進める考えは。

問

国の指導では、事業起債の一部を一般会計から支出できるが、町の考えは。

答

総務省からの通達では、水道施設の更新に係る費用は、基準外となっている。

答

水道事業は地方公営企業法に基づき独立採算制が原則。施設の更新のため、長期的な視点から負担を先送りせず、持続可能な事業にしていくことが最重要である。

■ 自主防災組織について

質問

防災士資格取得に助成は

町 結成後、補助を予定

問

伊王野地区で行われた災害図上訓練D-I-G(ディグ)は、重要な講座の一つである。専門の講師による町内開催の考えは。

問

防災士は全国で17万7千人あまり。取得には講座への交通費を除いても1万円以上はかかる。

答

町ではD-I-G訓練だけでなく、避難訓練や情報伝達訓練など、訓練が各地域で開催できるように企画や情報の発信をしていく。D-I-G訓練は今年も要望した。今後も有効であると考えられる県の事業等を積極的に活用していきたい。また、D-I-G訓練だけでなく、避難訓練や情報伝達訓練などが各地域で開催できるように支援を行っていきたい。

答

今後自主防災組織がある程度設立された際には、その地区のリーダー等に対し防災士資格取得に対する補助を予定したい。



自主防災組織形成事業の講演会の様子(稲沢・沼野井地区)

※ほかに「町の手数料について」、「低所得者、障がい者世帯のエアコン設置について」の質問もしています。